＜別紙１＞

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：逗子市こども発達支援センターくろーばー		種別：児童発達支援事業・放課後等デイサービス
代表者氏名：園長　渡邉　将史		定員（利用人数）：多機能型　20（登録者数　81名）名
所在地：〒249-0005　逗子市桜山5-20-29　逗子市療育教育総合センター2階		
TEL：046-876-5831		ホームページ：https://www.tomoni.or.jp/
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2017年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人県央福祉会		
職員数	常勤職員：7名	非常勤職員：8名
専門職員	児童発達管理責任者：1名	社会福祉士：3名
	児童指導員：4名（内非常勤2名）	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	ﾌﾟﾚｲﾙｰﾑ：5、相談室：7、静養室：1、事務室：1	こども専用ﾄｲﾚ：1、授乳室：1、待合室：1、男女別ﾄｲﾚ：2、多目的ﾄｲﾚ：2、ﾌｧｲﾙ保管庫：1、倉庫：2、給湯室：1、ｼｬﾜｰ室：1、男女別更衣室：1

③理念・基本方針

【法人の基本理念】
Ⅰ．ソーシャルインクルージョン（共生社会）を目指します。
Ⅱ．先駆的で開拓的な事業を展開します。
【くろーばー基本理念】
・私たちは、子どもと家族と共に、協働しながら、発達支援（療育）を行います。
・私たちは、自立的生活を意識した発達支援（療育）を行います。
・私たちは、想像力（創造力）豊かで、専門性の高い発達支援（療育）を行います。
・私たちは、逗子に根ざし、地域と共にある発達支援を行います。

④施設・事業所の特徴的な取組

【事業内容】
児童発達支援事業・・・親子通園クラス（2・3歳児）、単独通園クラス（4･5歳児）、午後クラス（4・5歳児）
放課後等デイサービス事業・・・グループ療育（週1回）、個別療育（週1回）
【その他の事業】
・市民に向けた研修会を年2回開催しています。
・利用児が所属している幼稚園、保育園、学校等の巡回相談を行っています。
・各クラスの療育内容について、定期的に統括施設長によるコンサルティングを受けています。

・放課後等デイサービス利用児に向けて、自立と社会参加を目指し、月1回土曜プログラムを実施しています。
・市内外の保育園、幼稚園等の職員を対象とした勉強会を年に4回開催しています。
・利用者の保護者に向けて、卒業後の就労のイメージを持ってもらうために事業所（自立支援、生活支援など）見学会を年に1回実施しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和７年５月８日（契約日）　～ 令和８年３月２日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2020年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1）療育の専門事業所として、事業所が一丸となって利用者対応に取り組んでいます
「療育」の専門事業所として、利用者の期待に応えたいという意識が組織全体に浸透しています。園長をはじめ職員が一丸となり、療育の専門家として誠実に業務を遂行しています。専門性の強化に向けては、同じ建物内の逗子市の相談部門（ひなた）と密に連携しています。専門職(作業療法士、心理士など)の協力を仰ぎ、助言を得る体制を構築しています。利用者については、子どもだけでなく、保護者に対しての支援も強く意識しています。障がいを持つ子どもへの理解と共に、大人になって自立して社会参加ができるよう保護者へのアドバイスを行っています。

2)公的な療育の専門事業所として地域貢献活動を積極的に行っています
年に2回の市民向けに発達支援についての講座の開催や、関係機関向けに年1回事業所の公開日を行う機会を作り、事業所の取組の周知に努めています。市の障がい福祉課や市内に4ヶ所ある相談支援事業所などが出席する自立支援会議(月1回開催)にも参加しています。こども発達支援センター内での定例会も定期的に開催し、情報共有の機会を設けています。対象の子どもが通学している保育園、幼稚園との会議にも出席して情報交換を行っています。年4回、市内の保育園や幼稚園の職員を対象に支援を必要とする子どもに関する勉強会も開催し、自閉症や発達障がいの症状や保護者対応について専門家の立場で情報提供しています。

3)行政・関係機関と連携して、事業所機能の周知と利用促進活動が期待されます
事業所が保有する充実した支援機能を、十分に周知できるよう工夫が求められます。今後、行政・関係機関も一体となって取り組み、悩みや不安を抱える保護者に寄り添う支援体制を整え、包括的な保護者ケアを推進することが期待されます。既に実施している市民講座や巡回相談の拡充に加え、組織の強みを積極的に宣伝し、適切にサービスを選択できる環境を構築することが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度は当事業所の第三者評価を実施していただき、貴重なご意見やご指摘をありがとうございました。
自己評価において、これまでの取り組みについて振り返る機会となり、職員間でも再確認をすることができました。また、利用者調査についても率直な意見を伺える良い機会となりました。評価をいただいた点と課題となるご意見をいただいた点について真摯に受け止め、今後のサービスや支援内容に反映していきます。
　第三者評価結果については、調査員の方々から直接熱いエールをいただきました。ありがとうございました。また、ご指摘いただいた保護者ケアの推進や市民への周知

と利用促進について行政や関係機関と連携しながらより良い手段を検討し、取り組んで参ります。

　今後もお子さんやそのご家族の思いに寄り添いながら、安全で安心できるサービスの提供に努めて参ります。
利用者調査にご協力いただきました皆さま、心より感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙２のとおり